

平成24年度 学校自己評価表〔定時制〕

◆ 自己評価項目一覧

評価項目	分掌	評価指標（重点目標）	評価基準（具体的方策）
教育課程学習指導	教 務	授業や行事等のあり方について検討し改善を行う。	生徒による授業評価アンケートや保護者アンケートなどの結果を基に授業の改善を図る。また、少人数に対応した学校行事等の工夫をする。
	機械科 電気科	積極的に資格取得にチャレンジさせ、合格へと導く。	電気工事士・危険物取扱者等の資格試験での全員合格をめざし、課外や個別指導の充実により、合格率を向上させるとともに、ものづくりに関する基本技術の習得を図る。
	図 書	読書への興味・関心を深めさせる。	LHRや特別指導期間を利用して図書室で読書をさせ、読書の習慣をつけさせる。
生徒指導	生徒指導	基本的生活習慣の確立をめざす。	家庭や職場と連携を密にし、出席率95%以上、学校行事出席率95%以上をめざす。
		情報倫理観を養うとともに防犯と交通安全に対する意識を高める。	定期的な車体検査や交通安全教室を実施することにより交通マナーを育成するとともに、携帯電話等に関わる犯罪事例を紹介し、正しい情報倫理観や情報収集能力を高めるための講演会やビデオ学習などを定期的に行う。
	教育相談	スクールカウンセラーの活用を推進する。	年度当初に生徒全員を対象としたスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施し、生徒が相談しやすい体制を構築する。
		さまざまな問題を抱えた生徒をより理解する。	情報交換会を定期的に行い、生徒理解を深めるとともに、スクールソーシャルワーカーとの連携体制を構築する。
人権・同和教育	同和教育	同和問題に対する正しい知識と理解を深めさせる。	LHRでの計画的な指導と香同教大会に向けた全日制との協力体制を構築する。
	人権教育	人権を尊重し、他人を思いやる心を育成する。	基本的な倫理観や規範意識の向上をめざした道徳教育の充実を図ることにより、社会生活において他人を尊重する言動がとれるようにする。
特別活動	特別活動	生徒会役員を中心とした生徒会活動を行う。	少人数ではあるが、役員会を定期的に行い、様々な生徒会生徒会行事を継続して実施する。
		定通総体での成績向上をめざす。	体育の授業との連携や、個別指導により、全国大会出場をめざした指導体制を確立する。
		閉課程に向けた生徒の主体的な取り組みを促す。	閉課程行事の計画や準備に、最後の卒業生となる生徒の思いが反映されるように考慮する。
進路指導	進路指導	進路情報の積極的な提供を行い、全員の進路先を決定する。	積極的に企業訪問を行い、早期からの進路情報の提供に努める。また、進路相談や面接指導を計画的に行い、徹底した個別指導により全員の進路実現を目指す。
		早期からの進路選択能力・態度の育成を行う。	ハローワークやさぬき若者サポートステーションとの連携を深め、早期から進路意識の高揚を図る。
安全管理	安全管理	一人ひとりの防災意識を高める。	火災の場合のみならず、地震や津波などの災害への対処を研究し、避難訓練に採り入れる。
		安全点検の実施を充実させる。	危険箇所の撤去・改善を常に行い、さまざまな災害発生を想定した避難経路の点検を進める。
保健管理	保健管理	健康について、意識向上を図る。	全校集会・講演会・LHRなどの機会にビデオ教材や保健だよりを用いて、興味・関心を喚起する。
組織運営	組織運営	閉課程に向けて定時制資料の整理をする。	職員室内の各種保存文書や書籍等の整理を計画的に行い、閉課程に向けた準備を進めていく。
保護者地域住民等との連携	教 務	開かれた学校づくりをめざす。	ホームページや定時制だよりの発行を通して保護者等に教育活動内容をより理解してもらう。
	生徒会	ものづくり技術を身につけ、地域行事に参加する。	坂出「光輝里フェスティバル」にイルミネーション作品を出展する。

